

大会特集号

江東支部



墨田、江東、江戸川合同編集

東京土建一般労働組合
江東ブロック会議
江東区北砂1-11-4
TEL [3640] 2411
発行者 山本繁樹
定価 30円
新聞代は組合費に含まれています

第57回支部定期大会開催



冒頭あいさつをする松丸委員長

大会は、新野副委員長、次いで議長団に難波代議の司会により開会され、員(深3)鈴木代議員深大和田大会運営委員長よ中)が選出され、議事が進行していきま

第57回江東支部定期大会は4月8日(日)に江東区北砂の砂町文化センターにて開催され、支部役員・代議員・特別代議員・来賓あわせて163人が参加しました。大会は、昨年の運動の総括、新年度運動方針案・支部財政の予算・決算などが報告・提案されました。また、江東支部としては16年ぶりとなる役員(委員長)選挙をおこないました。午後からは各専門部の分科会が活発な議論がおこなわれ、大会決議・大会スローガンの提案、採択のあと、役員改選がおこなわれました。小倉副委員長が退任し、金谷副委員長が新委員長に、大木常任が新副委員長に選出され、新執行部が発足しました。

地域建設産業再生で仲間の仕事と暮らし、土建国保を守り、社会保障と税の一体改革を阻止し、5,000人組織の早期回復への足がかりとなる反転攻勢を!



アスベスト訴訟原告団による報告と決意表明

アスベスト訴訟原告団による報告と決意表明。報告者は、アスベスト訴訟原告団の代表者として、アスベスト被害の深刻さを訴え、土建国保を守るための運動を呼びかけました。決意表明では、アスベスト訴訟原告団の代表者が、アスベスト被害の深刻さを訴え、土建国保を守るための運動を呼びかけました。決意表明では、アスベスト訴訟原告団の代表者が、アスベスト被害の深刻さを訴え、土建国保を守るための運動を呼びかけました。

後にも引き続きのご支援ご協力をお願いします。建り後退を許すことになりました。組織の増勢は諸状況が続いています。その運動の前進を勝ち取ったの中で、私たちは働く仲間をとおこなうためにも大変重要なことです。今年もみなさんの力をあわせて増勢にしました。拡大運動では、向けての取り組みを進めていきたいと思います。と参年間目標を全分会が目標を達成しましたが、就業加代議員に呼びかけました。金の確保、健全に事業、就労できる現場を

実態調査などの影響もあつた。続いて大会を激励するたために参加していただいた来賓の方々よりあいさつをいただきました。基調報告の中で、山本書記長は2011年の運動の主な総括と情勢の特色、2012年度の重点課題を提案しました。具体的には「生活できる賃金の確保、健全に事業、就労できる現場を

第4回若洲でBBQ! & 若洲で婚活?

とき: 5月20日(日) 12:00~14:00
ところ: 若洲海浜公園キャンプ場

募集人員: 200人
(ファミリー他150人、婚活対象者50人)

参加費用: 一人につき500円
(18歳以上、子ども無料)

※婚活BBQ参加の女性も無料

詳しくは江東支部HP
<http://www.tokyo-doken-koto.jp/>

婚活カップル成立の中から抽選で1組に「ディズニーペアチケット」が当たる?



遅れた春が運んでくれた今年、さくら

◆桜が一斉に咲くのは、腹ペコのひよどり、むくどりの襲撃から身を守る本能的行為だそう。ポチポチ咲いては鳥に蜜を食い荒らされる。センサーを働かせ「センサー」と一斉に咲けば被害は少なく済むのだ。魚の大群が瞬時に外敵から身をかわすのもセンサーの働きによると生物博士の弁。

◆センサー付きの原子力発電機は人間、環境、歴史、文化を汚染し国土を破壊する廃物と化した。人間だけがセンサーをもてないおろかさから脱却するために自然から学びかえす必要があるのでは? (杉)

新執行委員長に 金谷 修氏



今大会にて委員長に選出されました金谷修氏です。今、長引く不況により建設労働者にとってきびしい状況が続いており、私たちの江東支部も、これからの建設産業

新執行委員会

- 〔敬称略〕
- 〔執行委員長〕 大島 加藤 任子 4砂
- 〔副委員長〕 山内 隆 東砂
- 〔書記長〕 寺内 博 大島
- 〔書記次長〕 佐伯 克利 大島
- 〔書記員〕 篠塚 智司 小名木 大久保 実 東砂
- 〔常任執行委員〕 油屋 正孝 小名木 藤田 須美男 南砂
- 〔執行委員〕 山田 義友 東砂 菅原 新作 南砂
- 〔執行委員〕 鈴木 隆二 南砂 黒田 勝 深北
- 〔執行委員〕 中谷 登志夫 深北 宮内 守 深中
- 〔執行委員〕 菊地 喜好 深北 金子 栄日 深中
- 〔執行委員〕 新野 好雄 深7 柴田 秀輝 事業所 中尾 正文 深7
- 〔執行委員〕 菅野 元淑 亀戸 比村 光代 事業所
- 〔執行委員〕 網野 省平 亀戸 鶴澤 豊 事業所
- 〔執行委員〕 長谷川 昭二 大島 (会計監査)
- 〔執行委員〕 ☆富樫 康弘 大島 ☆加藤 一義 砂中
- 〔執行委員〕 本多 美佐子 小名木 ☆喜安 正廣 4砂
- 〔執行委員〕 塩崎 壽一 小名木 ☆桑原 秀朗 深7
- 〔執行委員〕 逸見 ちづみ 砂中 ☆は新任
- 〔執行委員〕 入澤 勝一 砂中

2012年各専門部の重点

賃金対策部会

「方策2011」提言 26、000円・月収50に對して、2月23日に「社会保険未加入対策の」とりまとめ」が発表されました。この動向を区や地域建設業界に働きかけ「法定福利費の別枠計上、別枠明示」等を求めています。この問題での建設許可など実務の変更があれば早め、該当する事業所に情報発信を行います。生計費原則で生活できる基準の設定(生活できる標準賃金)1日

内「公契約条例の検討委員会」を設置させることに全力をあげます。具体的には「公契約条例を考慮する江東連絡会」の活動を強化させた上で改めてシンポジウムや学習会の開催、議会対策、そして何よりも地域業界の賛同を促すことが重要となります。春秋の賃金統一行動で現場訪問、宣伝をさらに大きな規模で取り組みます。また地域労働協約を目標とする取り組みと、地域業界との二者懇談会の位置付けを大きくします。特に公契約運動と社保未加入問題も議題に

社会保障対策部会

社会保険と税の一体改革、TPP反対の30万人署名を土台に地域共同でのたのたの発展させ、この策動を阻止すること。引続き厳しい情勢が予想されます。行動の前進はこの間、回収率が後退しているのが重要視して、「仲間がだれでも参加できる行動」と位置付け強化して取り組みます。都費補助をあげるとともに、実質増額の運動をすすめます。レントゲン補助についても創設の実現を目指します。都はがき要請の回収率の向上と、引き続き

税金対策部会

民主党政権がマニフェストに掲げられる国税通則法の改悪により「納税者に義務を押し付ける課税の権限拡大強化」が可決・成立しました。主な内容では、①事前通知を要さない、②帳簿などの提示・提出に際しない場合、罰則(懲役や罰金)を科し、一方的に帳簿等の書類を引き上げ、③すべての更正処分を理由付記するかわりに所得300万円以下の事業者者に記帳義務を課す、など多くの問題点が指摘されています。私たちは、改悪による影響を跳ね返すための実務対策、制度政策要求をすすめると同時に、改悪に納税者権利確立のための法律を作らせる運動を共同でたたかいます。この内容を申告相談会等で広く呼び掛け、今後すべての相談者が記帳できるような記帳の学習会を開催していきます。特に12年度は、事業者の記帳が義務化された事を周知徹底していき、その必要性を知らせる事に重点をおき、個別の指導を中心に力を入れていきます。



社保・税金の分科会のような様子

組織部会

定着型拡大をすすめる。新加入者の半分が1年以内の実現可能な2年以内の組合を脱退取り組みは「加入目的」している実態の中で、明確な未加入者をより「群会議開催、充実が最も多く組合に迎え入れること」で、定着率の高い①土建国保(厚生年金)②労働保険③共済会の各種者の実態把握」などを定着・脱退対策を進めます。退共証紙の支部での貼付、目的で10%の成果が上げられるような目標設定を通常の14%とともに追求し組織拡大を進め

来賓紹介(敬称略・順不同)

- 平井 保 (本部常任中執)
- 告坂 真二 (本部副委員長)
- 大橋 清次 (建築力レック教務部長)
- 三品 稔 (江戸川支部執行委員長)
- 佐門 邦男 (江戸川支部副委員長)
- 石田 敏晴 (江戸川支部副委員長)
- 清水 英明 (区労連事務局長)
- 井上 定男 (中央労働金庫亀戸支店長)
- 京谷 充実 (民主商工会副会長)



来ひんのみなさん
ありがとう

ください。また、それ以外の手・子育て世代に、分外の再編についても合意と分会再編の基本方針に逸脱しなければ、支部はその協議について妨げるものではないと見做す。2013年4月より分会役員65歳定年制が予定されています。定年制で役員を交代するにあたり、次期役員候補の掘り起こしを自らが行い、バトンタッチすることが分会役員の大任務であると位置付け、早めの準備を心掛け、拡大運動の担い手を増やすために、組合のイベントに参加した

財政部会

2011年度の予算案は、組織人員4,450人を基礎に組み立てました。就業実態調査等の影響で2年連続の大幅な組織後退を招き、組合収入の執行率にして95.3%、実額で約1,400万円の収入減となりました。2012年度は、組合費の値上げをせずに組合費収入の基礎人員を4,150人で予算運営を行ないます。一般経費や人件費、各分野の予算をぎりぎりまで縮小し、分会再編に伴う各種費用の削減も行った上で、編成となつていきます。一方、分会組織の強化を図るため、支部からの補助金や援助金として支給する

仕事対策部会

今年で35回を迎える住宅デューは東日本震災で改めて「災害復旧」で地域住民に欠かせない地元の建設職人を意識する。防災・減災の関心が高い昨今、地域住民の参加型活動の発展と企画の充実を図る取り組みとします。その中の住宅相談活動を押し出します。そしてこの取り組みで活動家づくりの機会提供の場として位置付けます。支部がこれまで区に対して要求している①住宅リフォーム助成、②耐震助成制度の拡充、③耐震金具取り付け事業の拡充、④防災協定締結については引き続き制度実現のために行政、議会、業

厚生文化部会

この間、組合総合共済は制度を拡充しながら14年間掛金を値上げせず運営してきましたが、昨年は本部全体として掛金に対する給付が初めて101.3%となり上回りしました。引き続き安定運営を図るとともに、A・S型の私傷入院引き上げ、B型の病氣・私傷入院給付の引き上げ(1日あたり500円)と「病気の範囲の拡大」「固定費の扱い」の規程を見直し給付内容を充実させます。これに伴い共済費もA・S型は1,500円、B型は2,100円引き上げます。改定による給付は4月から行いますが、共済掛金の引き上げは9月納入(10月分)から行います。この掛金改定により、「核」として仕事対策部と連携した取り組みを行います。

教育宣伝部会

建設産業を担う後継者の育成のきっかけづくりと授業支援や子育て支援事業の参加、そして、町場の就労確保を目的に国交省の補助事業である「江東人材育成支援センター」の認定に向けた本格的な取り組みに着手します。また支部住宅セクターの認定に向けた本格的な取り組みに着手します。まずは協議会立ち上げにむけて既に必要条件となる教育関係者の協働について、協議会入りについて目的が立っている中で支部内部の充実で組合を宣伝する取り組みに加え、メールアドレス登録者には、定期的な情報発信し、組合の各種取り組みに積極的に参加を促すツールとして活用できる体制確立を目指します。部員・通信員はもちろんのこと、分会・群役員、一般の仲間にも投稿の協力を呼びかけ、仲間の声の多くを掲載できるよううにしていきたいと思います。その核となるのは部員・通信員です。通信員は、分会から最低1名以上を支部大会後に登録してもらいます。役員のみならず、視野を広く、これまで協議や集会、分会レクなどに協力してきています。また、支部役員や各専門部等にもタテだけでなく、ヨコの機能も生かして運動の指針や結果の報告なども掲載していただきます。部員・通信員からの投稿は、年3回以上を目標とします。他にも、群会議の報告書での意見・感想や新加入者の紹介などの掲載も検討します。

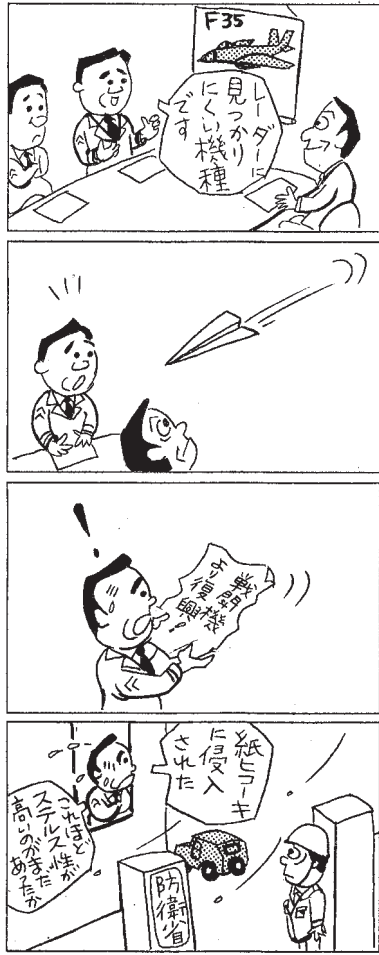
後継者対策部会

全ての分会から後継者対策部長を選出し、分会の責任者として運営に関わります。卒業する年代になる前に自らが後継者を掘り起こし、他の専門部長として分会役員に残り、拡大期間の中間決起の場としても位置付けています。この条件で、1年の任期途中であっても後継者対策部長を交代し、後継者は要員としてイベントにも引き続き協力要員として参加します。また、若手の事業主を集めての経営セミナーや経験交流会、仕事の紹介などができる場を設けていくことで、将来的な後継者世代結集の基盤を広げよう努めます。

2013年の組合費(共済費・国保入院共済を除く)の値上げを検討せざるを得ません。厳しい中での負担をお願いしなければならぬ状況を是非、仲間の皆さんにも伝えながら、そうさせないために組織増勢と未納問題の克服の取り組みを強化します。

支部機関紙「土建しんぶん」は支部の活動、仲間の奮闘を伝えるとともに、大手マスコミが伝えられない「真実」を伝える、草の根の媒体です。この役割を果たすため、多くの部員や通信員の積極的な取材活動、編集体制を強化させます。また、若手世代にはHPやブログなどのインターネット媒体の充実で組合を宣伝する取り組みに加え、メールアドレス登録者には、定期的な情報発信し、組合の各種取り組みに積極的に参加を促すツールとして活用できる体制確立を目指します。部員・通信員はもちろんのこと、分会・群役員、一般の仲間にも投稿の協力を呼びかけ、仲間の声の多くを掲載できるよううにしていきたいと思います。その核となるのは部員・通信員です。通信員は、分会から最低1名以上を支部大会後に登録してもらいます。役員のみならず、視野を広く、これまで協議や集会、分会レクなどに協力してきています。また、支部役員や各専門部等にもタテだけでなく、ヨコの機能も生かして運動の指針や結果の報告なども掲載していただきます。部員・通信員からの投稿は、年3回以上を目標とします。他にも、群会議の報告書での意見・感想や新加入者の紹介などの掲載も検討します。

あめんぼ (イナリ)



退任された支部役員のみなさん ごくろうさまでした



- (敬称略)
- 小倉 一男 副委員長 (小名木)
 - 落合 豊一 常任執行委員 (大島)
 - 宮崎 知美 常任執行委員 (深中)
 - 難波 肇 執行委員 (深3)
 - 根本 一憲 執行委員 (南砂)
 - 天井 昭夫 執行委員 (大島)

第44回江東支部 主婦の会総会開催

2012年3月24日 土、排出する効果がある(土)午前10時より12時までの事で、味噌汁まで支部会館にて、第44回は、毎日飲みましょう！回江東支部主婦の会総会を開催しました。

最後に、金井先生は「汚染の中で生きる決意をすること。今後5年間は食べ物に注意を払うことが重要です。」と締め括りました。

休憩を挟み、2011年度の活動報告・2012年度の活動方針と決算報告・予算案を報告。その中で、分会確立の援助の力を高めよう放射能を取り込まないように、野菜はよく洗う。お湯で洗うと尚良い。塩で揉んで茹でる。お酢を使う。など教えて頂きました。そして、参加された皆さん有難うございました。役員らに代わって、子供達に野菜を沢山食べさせ、発酵食品のお味噌には、腸の粘膜を守る

味噌には、腸の粘膜を守る

終了後、産直品の販売



大会分会表彰

- ☆動員の部 (2%以上の動員確保が対象)
1位…深7、2位…深中、3位…4砂
- ☆署名の部 (分会50%以上の署名が対象)
1位…4砂、2位…6砂、3位…小名木
- ☆ハガキ要請の部
100%達成…大島、小名木、6砂、深3
- ☆未滞納一掃の部…該当なし
- ☆拡大の部
年間実増達成 5砂、事業所年間目標達成
全分会 (亀戸、大島、2大、1砂、小名木、3砂、4砂、5砂、6砂、7砂、8砂、深北、深中、深3、深5、深6、深7、事業所)

支部出張講習会

「丸のご盤」講習

春の拡大月間に結合した取り組みで、今回も丸のご盤講習を開催します。

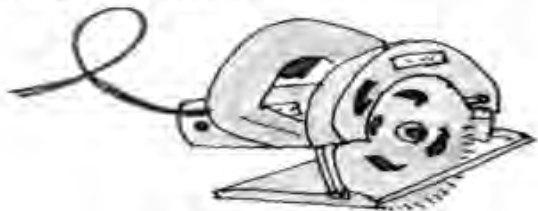
【と き】5月27日 (日) 午後1時～午後5時

【と ころ】支部会館

【受講料】3,800円

【定 員】40人 しめきり5月11日

写真3cm x 2.5cmと受講料を添えて申し込みください。



事業所セミナーの開催

【と き】5月15日 (火) 午後3時～

【と ころ】支部会館3階

【参加費】無料

【内 容】「方策2011」提言で出された「社会保険未加入対策」の具体的な内容についての学習を行います。

【参加対象】大手現場や公共工事で施工している事業所や一人親方や外注労働者を抱えている事業所。建設業許可業者や経審受審事業所など。



☆5月・春の拡大統一行動

第3次=5月8・9日 (火・水)

第4次=5月15・16日 (火・水)

第5次=5月22・23日 (火・水)

第6次=5月29・30日 (火・水)

E-mail koutrufu@akyn-doken.or.jp



前進座創立50公演の案内

「鳴神」 「芝浜の革財布」

【と き】5月13日 (日) 午後4時開演

【と ころ】三宅坂・国立劇場

【観劇料】7,200円

(友の会料金) → 6,200円